

作成日：2014年5月8日
改訂日：2017年12月6日

安全データシート

【1. 製品及び製造者情報】

製品名：マルチプライマー ペースト
会社名：YAMAKIN 株式会社
住所：〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町3番7号
電話番号：06-6761-4739
FAX 番号：06-6761-4743

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

健康に対する有害性

・皮膚感作性：区分 1

環境に対する有害性

・水生環境有害性
短期間（急性）：区分 3
長期間（慢性）：区分 3

ラベル要素

・表示：



・注意喚起語：警告
・危険有害性情報：発疹、皮膚炎等のアレルギー病状を引き起こす可能性のあるモノマー成分を含有している。アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ。
水生生物に有害。
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

・安全対策：使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
換気の良い区域でのみ使用すること。
適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、ヒューム、蒸気を吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
・応急措置：飲み込んだ場合、水で口の中をよく洗浄する。痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた

場合、医師の診断、手当てを求めること。
 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、よくうがいを行う。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 眼に入った場合、清浄な水で15分以上洗浄した後、直ちに眼科医の診察を受ける。
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には選択をすること。
 ・保管：容器を密閉して保管すること。
 ・廃棄：内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

【3. 組成・成分情報】

単一製品・混合の区別：混合物
 成分及び含有量：

化学物質名	化学式	含有率 wt %	CAS No.
ウレタンジメタクリレート	$C_{22}H_{36}N_2O_8$	48~50	72869-86-4
二酸化ケイ素	SiO_2	39~41	7631-86-9
3-メタクリロイルオキシ プロピルトリメトキシシ ラン	$C_{10}H_{20}O_5Si$	非公開	2530-85-0
二酸化チタン	TiO_2	非公開	13463-63-7
ペンタエリスリトール＝ テトラキス（3-メルカプ トプロピオナート）	$C_{17}H_{28}O_8S_4$	非公開	7575-23-7

【4. 応急措置】

吸入した場合：被災者をただちに空気の新鮮な場所に移動させ、よくうがいを行う。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 眼に入った場合：清浄な水で15分以上洗浄した後、直ちに眼科医の診察を受ける。
 飲み込んだ場合：水で口の中をよく洗浄する。痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受ける。

【5. 火災時の措置】

消火剤：水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
 使ってはならない消火剤：該当しない。
 特有の危険有害性：火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

- 特有の消火方法 : する。
 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急措置 : 全ての着火源を取り除く。
 : 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
 : 関係者以外の立入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 河川、水路や下水に流れ込ませないように注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法
 及び機材 : おがくず、ウェス、砂等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。
 : 大量の場合：盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
 : 二次災害の防止：着火源を取り除くと共に換気を行う。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い : 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないよう防護具を完備する。
- 保管 : 直射日光を避けて室温で密閉して保管する。
 : 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。
- その他 : 保護具は作業に適した性能及び構造の物を選ぶ。その際には取扱説明書等に記載されているデータを参考にする。

【8. ばく露防止及び保護措置】

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 :

成分	化学式	日本産業衛生学会 (2017年版) 許容濃度 mg/m ³	ACGIH (2017年版) TLV-TWA mg/m ³
ウレタンジメタクリレート	C ₂₂ H ₃₆ N ₂ O ₈	—	—
二酸化ケイ素	SiO ₂	2 (R) 8 (T)	3
3-メタクリロイルオキシ プロピルトリメトキシシ ラン	C ₁₀ H ₂₀ O ₅ Si	—	—
二酸化チタン	TiO ₂	1 (R) 4 (T)	10
ペンタエリスリトール＝ テトラキス (3-メルカプ トプロピオナート)	C ₁₇ H ₂₈ O ₈ S ₄	—	—

R：吸入性粉じん、T：総粉じん

設備対策 : 局所排気装置、手洗い・洗顔設備、安全シャワー、洗眼器等

保護具 : 呼吸器用保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣など。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状态、形状、色など

・形状	: ペースト状
・色	: 白色
・臭い	: 特異臭
・融点	: データなし
・沸点	: データなし
・引火点	: データなし
・比重	: データなし
・発火点	: データなし
・溶解性	: データなし
・爆発範囲	: データなし

【10. 安定性及び反応性】

安定性	: 通常の取扱いでは安定
反応性	: 通常の手扱いは反応はない
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

【11. 有害性情報】

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な 損傷性／刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: 区分 1 に該当する原料 (3-メタクリロイルオキシプロピルトリメトキシシラン) を 1%以上含むため、区分 1 に分類した。
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	
単回ばく露	: データなし
反復ばく露	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

【12. 環境影響情報】

水生環境有害性 (急性)	: 区分 1 (ペンタエリスリトール=テトラキス (3-メルカプトプロピオナート)) の原料を含み、その濃度と毒性乗率から、規定の手順に則って算出すると区分 3 の判定で濃度合計が 25%をこえたため、区分 3 に
--------------	---

- 水生環境有害性 (慢性) : 分類した。(区分 1、2 には該当しない。)
 : 区分 1 (ペンタエリスリトール=テトラキス (3-メルカプトプロピオナート)) の原料を含み、その濃度と毒性乗率から、規定の手順に則って算出すると区分 3 の判定で濃度合計が 25% をこえたため、区分 3 に分類した。(区分 1、2 には該当しない。)

【13. 廃棄上の注意】

- 残余廃棄物 : 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

【14. 輸送上の注意】

- 国際規制
 ・海上規制 : 非危険物
 ・航空輸送 : 非危険物
 ・国連分類 : 該当しない
- 国内規制
 ・陸上輸送 : 該当しない
 ・海上輸送 : 非危険物
 ・航空輸送 : 非危険物
- 安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。
 転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【15. 適用法令】

- 消防法 : 該当しない
 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物
 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
 (政令番号 第 312 号、二酸化ケイ素として)
- 化学物質管理促進法
 (PRTR 法) : 該当しない
- 大気汚染防止法 : 該当しない
 船舶安全法 : 該当しない
 航空法 : 該当しない
 港則法 : 該当しない

【16. その他の情報】

本製品は歯科用レジンの構成品です。用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。
 注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであり特別の取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施してください。取扱説明書は、使用者がいつでも閲覧できるようにし、本製品

の使用中止、廃棄するまで大切に保管してください。
また記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

【参考文献】

- ・(独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- ・職場の安全サイトホームページ
- ・日本産業衛生学会許容濃度の勧告 (2017 年度)
- ・ACGIH – TLVs and BEIs (2017)

【改訂履歴】

00	2014	年	5	月	8	日	初版
01	2017	年	12	月	6	日	社名変更、含有成分由来の GHS 分類の追加および誤記修正